

第七回フオト旬会優秀作品(2月14日)

<自由題>



あだ花と
知ってなお乗る口車
三 春



お姉ちゃん
子供手当ではどうなるねん？
中村 晃也



手も足も
出せずに君を待つばかり
平尾 富夫

ふるさとを
恋しとキリン立ちつくす
浜口 須美子



三春さん：浅草の人力車の画面と「あだ花」、「口車」という措辞がよくマッチしている。写真の背景も下町の雰囲気がよく出ている。
晃也さん：いつも通りの語り口。「子供手当」という時宜に合った感覚。
平尾さん：作者にそっくりの石像。「待つばかり」という川柳もどき自虐的な詠嘆！
浜口さん：大阪の天保山の埠頭の夕焼けシーンがとても綺麗。二基のクレーンをキリンに見立てた。主語を詠まないで「故郷を思い出させる冬夕焼け」ではどうか？

<句 付 け>

2月のお題写真



スケートの代わりにゲーム教えてね 中村 晃也

人生を転ばぬ先のヘッドギア 三 春

母と子の思いはいつも浅田真央 上山 裕次

<寸 評>

今月のお題写真はヘルシンキの市内で撮った屋外スケートリンク（大月さん）でした。スケートといえどどうしても浅田真央ちゃんのことを頭に浮かび同じような句が多くなりました。できるだけ他人とは違う視点で画面を捉えて句を作りましょう。

中村さん：練習中の母子の会話の場面として捉えました。

三春さん：この句でも「スケート」とか「真央ちゃん」とか言うておりません。「人生」を上5に持ってきた感覚、転ばぬ先の杖ならぬ「ヘッドギア」を思いついたセンスは遊び心十分です。

上山さん：真央ちゃんを取り上げた句の中では一番まともで素直な句でした。

次回のお題写真の提供は一席の中村晃也さんをお願いしました。